

【平成29年度事業報告】

1 新規入会会員の勧誘

平成30年3月末に広島大学を定年退職された教職員に入会案内を送付して新規入会の勧誘を行うとともに、幹事・会員により随時勧誘を行う。本日現在、3名の新規入会者があった。

2 第8回総会・懇親会の開催

日時：平成29年8月26日(土) 16:00-18:00

会場：ホテルグランヴィア広島 21F「曙光」

参加者：19名

3 例会

秋の例会

日時：平成29年11月14日(火)

内容：マツダミュージアム見学会

参加者：12名

春の例会

総会時期が早まったことと関連して、時期を遅らせて開催することを検討している。

4 懇親会

忘年会または新年会を開催予定であったが、実施できなかった。

5 広島大学から依頼のあった講座・事業などの担当

教養コア科目「平和科目」の授業担当

平成29年度は霞キャンパスにおいて「平和と人間C-広島で学ぶ(原爆とは何だったか)-」を第2ターム(4学期制)で、東千田キャンパスで「平和と人間D-広島から未来に向けて-」を前期(2学期制)に開講した。霞キャンパスで開講された授業の内容は次の通りです。

第1回 授業の概要説明。レポート、試験の説明

第2回 原爆を科学的に解析する

第3回 原発の安全と平和の条件

第4回 黒い雨を考える

第5回 ある被爆体験

第6回 世界の紛争 I

第7回 世界の紛争 II

第8回 小説を通してみる原爆

第9回 復興と被爆建物

第10回 被爆資料とその総括

第11回 多文化社会と華僑の同化問題-インドネシアを事例にして

第12回 インドネシア日本軍政(1942-45)をめぐって

- 第13回 放射性物質は何を残すか I
- 第14回 放射性物質は何を残すか II
- 第15回 ナポレオン戦争とヨーロッパ

日韓理工系学部留学生向け予備教育事業の担当

日本と韓国の教科書の違いに鑑み、欠けたところ及び不十分なところを補うための予備教育を行うため、数学・物理・化学・生物の4科目について10月末から3月までの10週（各科目について週1回（90分））を東広島の広島大学マスターズと共同開講した。本会からは、物理と生物の2科目を担当した。

大学院共通授業科目「学問と社会」の授業担当

広島大学マスターズは、東千田未来創生センターにおける教育・研究プロジェクトとして社会連携講座開設を提案してきたが、教育本部教務委員会において広島大学マスターズ広島の会員が提供する大学院共通授業科目「学問と社会」が、教育本部を開講部局とする2017年度の新規開設科目として承認され、授業が実施された。その内容は次の通り。

- 第1回:「オリエンテーション、地質学と社会—環境変遷と生物の進化—」
- 第2回:「イギリス・ビクトリア朝文学研究と日英比較文化論」
- 第3回:「アメリカ社会と文化」
- 第4回:「アメリカ文学におけるリージョナリズムと人種の断層」
- 第5回:「科学と社会—エネルギー・環境問題を中心に—」
- 第6回:「地質学と社会—岩石と人間生活との係わり—」
- 第7回:「活断層と地震—活断層から地震を探る—」
- 第8回:「活断層と地震—活断層と防災—」
- 第9回:「バイオテクノロジーと分析化学」
- 第10回:「計算化学」
- 第11回:「放射線科学」
- 第12回:「コンピュータの素顔とアルゴリズムデザイン—コンピュータの機能（ハードウェア）と情報処理の仕組み（ソフトウェア）—」
- 第13回:「コンピュータの素顔とアルゴリズムデザイン—情報の収納方法（データ構造）や処理手順（アルゴリズム）—」
- 第14回:「科学的経営管理」
- 第15回:「自動車の生産管理」

医歯薬保健学研究科医歯科学専攻（修士課程）向け授業の担当（後期）

医歯薬保健学研究科の医歯薬保健学研究科医歯科学専攻修士課程の社会人大学院生向けに、「健康生活科学」が霞キャンパスで開講され、授業が実施された。その内容は以下の通り。

- 第1回:「高齢化社会における健康生活」
- 第2回:「これからの感染症問題」
- 第3回:「現代食の問題点」

- 第4回：「食を通じた痛風の予防法」
- 第5回：「日本人の食生活の変化」
- 第6回：「生活の改善による生活習慣病やがんの予防」
- 第7回：「生活の中の化学」
- 第8回：「眼の老化（高齢者時代に伴い増加する眼疾患，白内障，緑内障，加齢黄斑変性等）」
- 第9回：「加齢に伴う男性ホルモンの変化」
- 第10回：「放射線の人体への影響とリスク評価の意義 ー放射線の基礎と広島・長崎の被曝線量調査ー」
- 第11回：「放射線の人体への影響とリスク評価の意義 ー世界の被曝とその調査ーセミパラチンスク，チェルノブイリ，マーシャル諸島・福島などー」
- 第12回：「甲状腺癌について ー甲状腺癌の発生ー」
- 第13回：「甲状腺癌について ー甲状腺癌の予防と医療（甲状腺ホルモンの働きを含めて）ー」
- 第14回：「がん検診について ーがんとは何か。がん対策の現状ー」
- 第15回：「がん検診について ーがん検診の有用性。がん対策の課題と将来像ー」

6 NHK文化センター広島教室から依頼のあった講座の担当

NHK文化センター広島教室が春から開講する「私たちを生み育てた宇宙を読み解く」の講師を派遣した。

7 会報（メールマガジン）の発行

『マスターズ通信 News Letter』第20号を発行した。

8 ホームページ、Facebook ページによる広報

ホームページには会員相互の理解が深まることを目指し、新たに「会員の広場」を開設し、会員からのエッセイ、近況報告、趣味活動の紹介などを掲載している。

9 その他

広島大学マスターズ広島の活動を総点検して今後のあり方を考えるため、活動点検委員会（仮称）を設置して具体的な検討を開始することを計画したが、幹事会内での討論だけで終わってしまい、委員会設置には至らなかった。